

# APAC 4 か国における API 攻撃のコスト

今年、Akamai は API セキュリティのトレンドに関する年次調査の対象国を、APAC の 4 つの経済大国に拡大しました。8 つの業界における、AppSec チーム、シニアセキュリティ、経営幹部（CIO、CTO、CISO）の役職に就いている 800 人以上の回答者から、攻撃や侵害、それらに対する組織の対応方法など、API インシデントの現状に関する知見を共有していただきました。

## API インシデントが頻発しています

過去 12 か月間に API セキュリティインシデントを経験した回答者の割合



83%

中国

80%

日本

82%

インド

96%

オーストラリア

## API インシデントによって多大なコストが生じています

API インシデントの平均コスト（12 か月）



中国

¥ 5,687,373 人民元  
(794,386 米ドル\*)

日本

¥ 80,533,468 円  
(533,159 米ドル\*)

インド

₹ 62,063,515 ルピー  
(724,455 米ドル\*)

オーストラリア

A\$ 493,367 豪ドル  
(310,983 米ドル\*)

## しかし、API インシデントによって生じるコストに関する見解には混乱が多く見られます



中国の AppSec チーム



中国の経営幹部

6,622,503 人民元  
(925,001 米ドル\*)

3,750,897 人民元  
(523,908 米ドル\*)

日本の AppSec チーム



日本のシニア・セキュリティ・プロフェッショナル

56,230,846 円  
(375,146 米ドル\*)

115,190,000 円  
(101,340 米ドル\*)

オーストラリアの経営幹部



オーストラリアの AppSec チーム

639,291 豪ドル  
(402,954 米ドル\*)

308,493 豪ドル  
(194,447 米ドル\*)

インドの経営幹部



インドのシニア・セキュリティ・プロフェッショナル

86,810,479 ルピー  
(1,013,332 米ドル\*)

45,680,814 ルピー  
(533,228 米ドル\*)

## 依然として、すべての国で API セキュリティが最優先事項とされているわけではありません



今後 12 か月間のサイバーセキュリティに関する最優先事項

中国：API セキュリティ

日本：(同率) ランサムウェアからの防御とセキュリティ情報およびイベント管理 (SIEM)

インド：クラウドセキュリティ

オーストラリア：エンドポイントのセキュリティ確保

日本、インド、オーストラリアでは、API セキュリティが 12 の優先事項のうち第 4 位に位置付けられています。

## API インシデントの影響は金銭的なものだけではありません



問題を解決するためのコスト — 29.5%

チームのストレスの増大 — 29.2%

顧客との友好関係の喪失や顧客のチャーン — 29.2%

チームの内部調査の増加 — 27.4%

チームに対するトップリーダーや取締役からの評価の低下 — 27.0%

信頼と評判の低下 — 25.8%

規制当局からの罰金 — 23.9%

生産性の低下 — 23.9%

従業員との友好関係の喪失 — 20.7%

コストも影響も生じていない — 2.1%

API セキュリティインシデントがビジネスにもたらしたコストや影響が何かあれば、それは何ですか？（全 4 か国の回答者が最大 3 つの影響を選択）

\* 2025 年 3 月 27 日時点の為替レートですべての通貨を換算

このレポートでは、アジア太平洋地域の上記の 4 か国における API セキュリティについて、さまざまな役職や業界の調査回答者から得られた次のような知見を詳しくご確認いただけます。

- 同業他社は何を API 攻撃の原因と見なしているのか（生成 AI ツールの API が有する脆弱性など）
- 同業他社は規制コンプライアンスのための取り組みとしてどのように API のリスクを考慮している（または考慮していない）のか
- 同業他社はどれくらいの頻度で API のセキュリティ脆弱性をテストしているのか



レポートの全文をダウンロード

出典：APAC 4 国における API 攻撃のコスト（2025 年）